

日本手話の動詞・形容詞：何をどう記述するか

高嶋由布子

yufuko.t[at]gmail.com

(日本学術振興会 特別研究員/東京学芸大学)

発表の流れ

1. 日本手話について
2. 危機言語としての日本手話調査
3. 日本手話文法の背景情報
4. 形容詞の調査報告

日本手話について

基本的な情報・言語のステータスなど

日本手話とは

- 日本のろう者に話されている日本固有の都市型手話。
 - ろう者**：手話を第一言語にする人。音声言語を習得できないレベルの先天ろうであることが多い。
 - 都市型手話**：聾教育の開始によってろう児が集団となったところに自然発生する。
 - cf. Senghas & Kegl 1994 など：ニカラグア手話
 - ほかに、ホームサイン、共有手話(village/shared sign language)
 - 日本固有**：多くの都市型手話は、聾教育に伴って伝播したため、アジア・アフリカ圏も含め、フランス手話・イギリス手話系統が多い。日本手話は指文字にアメリカ手話の影響が見られる以外は独自に発展したものとみられる。台湾・朝鮮半島にも姉妹言語が発展している。

日本手話の危機言語度

•Japanese Sign Language in **Ethnologue**

- Population: 317,000 (Van Clave 1987)
- Language Status: 5 (developing)
- Language Use: Vigorous, over 95% of the deaf understand Japanese Sign Language. 107 deaf schools. The first school opened in Kyoto in 1878. Used by all.

•日本手話

- 話者人口：6万人以下
- 言語使用：厚生労働省発行の身体障害者手帳を持つ聴覚障害者は34.3万人、手話を日常のコミュニケーション手段としている者は6.4万人（2006年）。日本語を母語とせず、日本手話特有の表現を使っている者はこの数字以下だと思われる。現在の聾学校では、いわゆる日本語対応手話が場に応じて使われている。
- 言語の状況：不安定、被侵食状態以下。世代間の継承が乏しい。

日本手話の歴史

- 1878年京都、1880年東京に聾学校ができ、ろう児に門戸が開かれる。
 - 裕福な家の子女が多かったし、限られた人数だった
- 1900年代に全国に聾学校が設置される。
 - このことで在校生、教師、卒業生が京都・東京（大阪）で発生した手話を全国に広める。
 - 聾学校ごとに「言語」ではなく、おなじ言語の言語変種ができる。ただし、西日本と東日本では交流はあれど、かなり違ったと予想される
 - ろう者も師範学校へ進学できた。
- 1920～30年代にかけて口話教育が導入される
 - 1933年に文部大臣の訓話があり、口話教育路線が決定的となり、手話が抑圧の時代を迎える。ここまでの50年間で日本手話が成立したともいえる。

日本手話の歴史

- 1956年に障害児の就学義務制度が完成
 - それ以降学齢期を迎えた者は、日本語をある程度まで身につけた。このため、手話話者のバイリンガル化が進行。
- 1960年代半ば以降、手話サークル、手話奉仕員（手話通訳）養成などで聴者も「手話」を使い始める
- 1990年代、聾学校で「手話」が用いられはじめる。
 - ただし、日本手話でなく、日本語の補助手段としての手話（中島 2018）
- 1995年「ろう文化宣言」
 - 「ろう者とは日本手話を話す言語的少数者である」
 - 木村晴美・市田泰弘（国立障害者リハビリテーションセンター）
 - 以降、ろう児の全国ろう児をもつ親の会(2005)「ろう児の人権救済申し立て」、森・佐々木編(2016)「手話を言語というのなら」など日本手話の言語権を主張するような運動は続いている。

危機言語としての 日本手話調査

本プロジェクト

- ろう者の日本手話の

- 語彙

- 文法

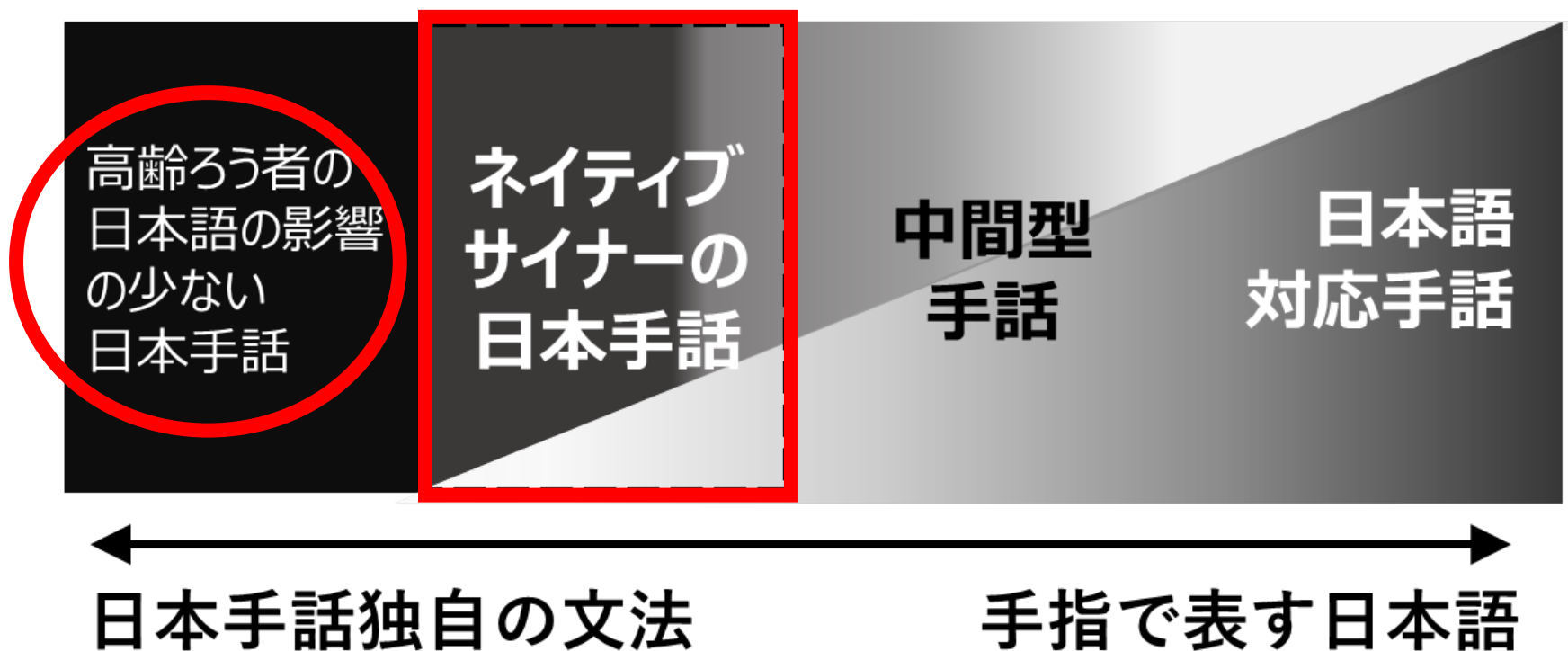
- 談話

を集め、分析する。

…そのための方法論を確立する

消滅危機言語的な観点

- 日本語との混成が進んでいる
 - モノリンガルに近い高齢者の手話を保存したい



消滅危機言語的な観点

- バリエーションを見る方法を確立したい
 - 標準語化圧は低い。
 - 東と西で日本手話はだいぶ違うらしい。
 - 高頻度語でも聾学校ごとにバリエーションがある。
 - こうしたものが、日本語と標準語化からのプレッシャーで消えつつある。
 - 台湾手話と韓国手話が姉妹言語だが、これらも周囲の音声言語に影響されて変化しつつある。
 - 台湾手話に至っては語順が変わったらしい。(Smith 2005)

日本手話の話者とは

- 「日本手話」を定義するのが難しい
- 世代間継承が乏しい
 - 先天ろう児のうち、親がろうで手話話者であるのは、1割以下
 - 先天ろうは人口1000人に1人くらいの割合で産まれる
 - 聾学校という「話者コミュニティ」が崩壊しつつあるなかで、ネイティブ・サイナーは継承語話者的な特徴を有することも。
(家庭以外で学齢期に手話を使わない)
 - 聾学校では日本語を教えるための方法論的手話が用いられている

社会言語学的な意義

- 日本手話を、日本語対応手話（シムコム）とは別の言語として示していきたい
 - （子どもがどんな手話を学ぶべきかという話とは別に）
 - すでに日本手話を身につけている人たちの言語権を保障するために必要。（とくに非識字者）
 - 手話通訳に関しては、日本手話ができる手話通訳のインセンティブが現在殆どない状態。区別もされていない。しかし、日本語対応手話のみしか表出しない通訳者では、情報保障として不足ということも言語が違ふことが客観的に示されていない以上、明示化されていない。
 - 高齢のろう者は日本語が読めないし、日本語がわかる人向けのコードである日本語対応手話もわからない。
 - [内閣官房長の記者会見](#)などには手話通訳がつくようになったが、ほぼ日本手話ではない。
 - NHK手話ニュースはほぼ日本手話のネイティブサイナーのキャスターが担当。

例文採集

• クリアすべき課題

1. 日本語の影響を減らす方法は？
2. 日本手話独自の構文を採集する方法は？
3. どんな形式に注目したアノテーションを作るか？

Nothing about us without us.

(国連 障害者の権利条約 2007のスローガン)

例文採集

•クリアすべき課題

1. 日本語の影響を減らす方法は？

- 調査票が日琉語に特化しているのでまずそれを理解
 - 今回、手話言語では先行研究がほぼないトピックマーキングについてデータが得られた（topicalizationの研究は日本手話を含む手話言語で行われているが、トピック-コメント優勢言語ですという議論がときどきあるくらいで、topicalizationのない文でトピックがどの程度明示されるのかは管見の限り情報が乏しい）
- 社会言語学的なバランスに注意（ろう者の人数を増やした会場で撮影。聴者1に対し、ろう者3以上）。コードスイッチを避ける。
- 「聞き手」役の重要性（ろう者の撮影者を用意。場合によっては会話形式で採録）

例文採集

2. 日本手話独自の構文を採集する方法は？

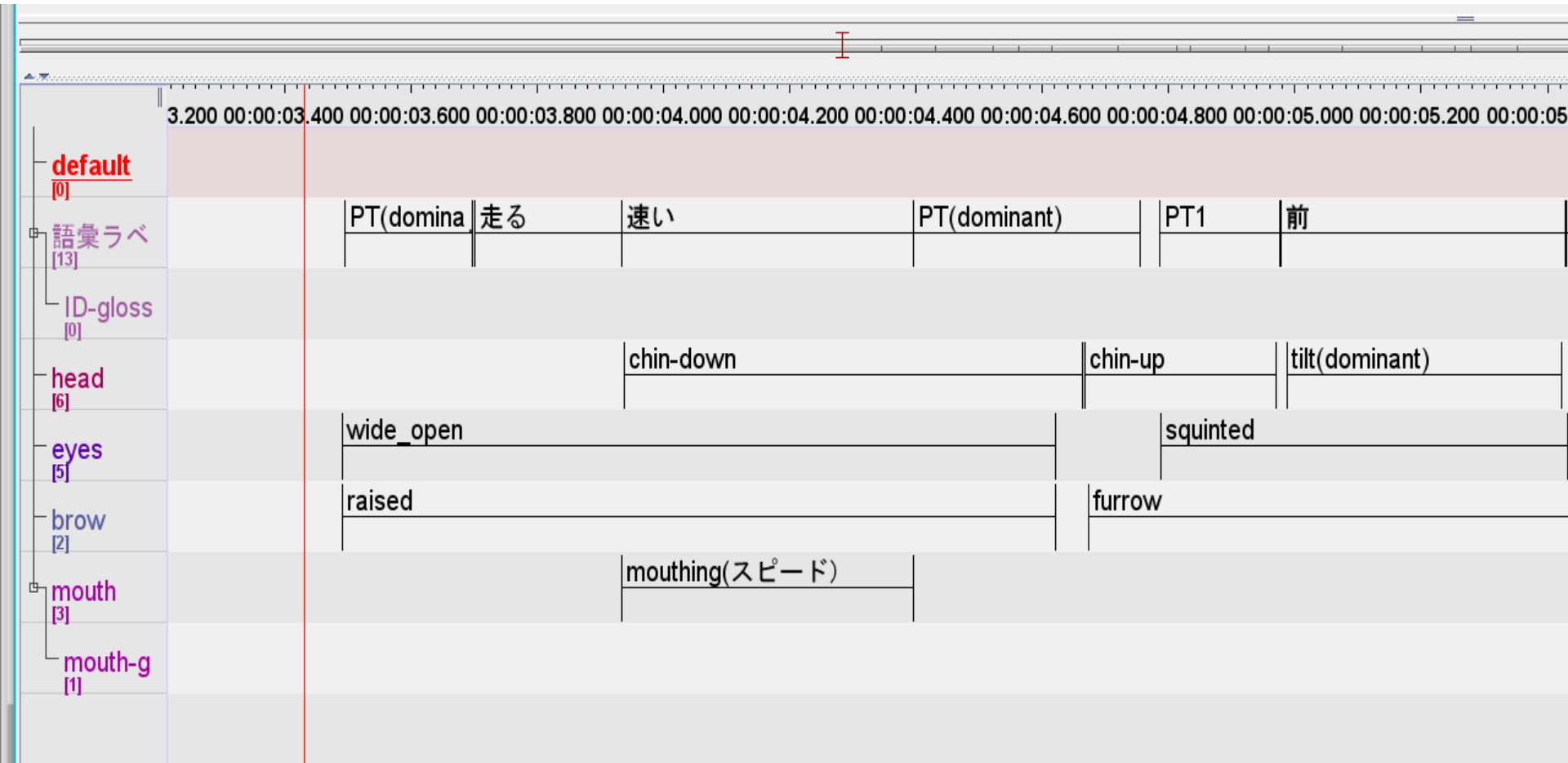
- これまで特徴的だと思われる構文を中心に
- 手話教師の経験から日本語話者が苦手な構文をさがす
 - (cf. 高嶋・黒田の研究はこの手法をとっている)
- 自然談話から抽出 (今後の課題)
- 若いバイリンガル話者のろう者と、年配の日本手話寄りの日本手話を話すろう者が共同作業して調査票を翻訳する
 - 東京圏の日本手話の例文を作る
 - これを土台に、高齢ろう者 (まずは関東圏) の手話にアクセスする (日本語からでは高齢ろう者の手話にはアクセスできない)

例文採集

3. どんな要素に注目したアノテーションを作るか？

- 文法の課題については、語のすべての形式（音韻）を記述するのではなく、機能に関係する形式のみを取り出して書く。
- とくに、日本語対応手話で残りそうな部分はあまり考えず、日本手話独自の部分をまずは重視する。
- 同時調音をELANなどでレイヤーを分けて動画にアノテーションをつけるだけでなく、できるだけ簡素に紙に書ける形をさぐる。→今回の記法

ELANのレイヤー



例文採集の手順

1. 日本語を見て翻訳
2. 表現のバリエーションを話し合う
3. 表出と録画
4. 後日LINEグループで共有・確認
5. 日本手話として不自然なものは手話動画だけを見て再収録
6. OKとなった動画にアノテーションを施す
7. アノテーションを確認する

アノテーション

- 語彙はグロスをつける
 - ID-gloss方式 = 辞書形が一致するものを1対1対応で日本語の語彙をあてていく
 - 動詞は起点と終点を明示する
- 非手指要素
 - とりあえず心当たりあるものはすべてつけてみる
 - できる限りWordの上付きのみで同時調音を表現
 - 先行研究の多くが非手指要素の適用範囲を罫線を上につけることで表していたが、上罫線は扱いづらいため。範囲が複数の語にかかるとはあい、カッコ[]{ }で囲むことに。

進捗

	撮影	確認	アノテーション	アノテーションの確認
活用調査票(20)	20	20	11	6
形容詞(23)	19	15	10	2

- 参加者は12名。60代～30代の親もろう者である「ネイティブサイナー」
- 生活圏が東京周辺で東京の手話を話す。
 - ただし、出身地が関西・東海圏の人もある。
 - 他国での学齢期の滞在歴のある人なども。

※同意書や話者情報については今回はまだとっていない。

- 話者情報にどんな項目が必要か、要検討。
- 今後メンバーと話し合い・同意を得る。

(例)複雑になった例文

「私も昔は足が速かった」

(14) [PT_{左前i} 走る 速い^{mouthing(mpo)} PT_{左前i}]顎引き/目開き/眉上げ
[{[] PT1 } あご上げ前]眉寄せ・目細め [PT1 同じ]首振り []瞬き
PT1 今目細め PT1首傾げ 下がる^{mg(ゆるみ 片頬上げ)} PT1 []瞬き
[]首傾げ(138)

あの人_iが走るのが速いように、私も以前は速かったのだが
今は落ちた (遅くなった)

形容詞の過去形だけをとったかっただけですが、やたら長くなっ
た。

首振りは逆接の接続表現。

がんばっても言われないと「見えない」要素がある。

昔は私も足が速かった

(14) [PT_{左前i} 走る 速い mouthing(mpo) PT_{左前i}]顎引き/目開き/眉上げ
[{[] PT1 } あご上げ 前] 眉寄せ・目細め [PT1 同じ] 首振り [] 瞬き
PT1 今 目細め PT1 首傾げ 下がる mg(ゆるみ 片頬上げ) PT1 [] 瞬き
[] 首傾げ(138)

あの人が走るのが速いように、私も以前は速かったのだが

今は落ちた（遅くなった）

- 「遅く-なる」のような表現は日本手話ではまずみられない。ここでは「下がる」という変化を表す動詞表現が用いられている。
- 「私も」などどうかつに使おうとすると、何と同じなのか明示しなければならなくなるのが日本手話の特徴
- 「PT1 同じ」には細かな首振りが共起している：逆接の接続表現
- 文末の首傾げは、「いかんわ～」というような自分の感想を述べるコメント部である。

アノテーション作成方法

- 形式については、文法に関係ある非手指要素の分析を中心にする。
 - トピック・マーカである目開き・眉上げ、指さし（PT）、頷き、首傾げ（頭の位置の変化）
 - 眉の上げ下げ（3値）、目の開き度合い（4値）（市田2005）
 - 瞬き（Tang et al. 2010；節間が瞬きや頷きでマークされる）

目 / 眉	眉上げ	無標	眉寄せ
目開き	○		△
無標		○	○
目細め	○		○
目閉じ	接続表現のときなどに一瞬表れる		

非手指要素：口型（マウス・ジェスチャー）

- (2) a. 手指要素なしにあいづちなどに使われるもの
- b. 手指要素に義務的につくもの（「終わり」につく「pa」など）
- c. 動詞などについて副詞的な意味を付加するもの
一生懸命に「mm」、てきとくに「th」：市田（2005）
- d. 形容詞の肯定的意味・否定的意味に対応し、その強弱を付与するもの
（肯定的なばあいの「oo」「hoo」、否定的な場合の「ee」「ii」：Matsuoka and Gadjewski 2013）

手話の音韻体系

- **音素**：手型、位置、動き、（手の向き）
- **音節**：始点位置・手型ー動きー終点位置・手型

- **語の同定**
 - **動詞**：位置（始点・終点）、動き、手の向きは変わるものがある
 - **形容詞**：動きの質が変わることで強調になる
 - **名詞と動詞**：動きが1回（1音節）か、2回（音節）かで区別するものもある（「いす」と「座る」）が、構文でしか特定できないものもある。動きの回数（音節数）はきちんと記すべき。
 - **動詞と形容詞**：手の動かし方が変わることで形容詞が動詞化する（痛い→痛む）

日本手話文法の 背景情報

日本手話文法の基礎

•基本語順はSOV（岡・赤堀 2011）

•多くの手話言語が取り巻く言語と同じ語順になっている。台湾手話は日本手話の影響を色濃く受けていた頃はSOVだったが、中国語に囲まれた現在ではSVOという報告がある。

•格助詞・テンスマーカ―などはない

•語順に依存する孤立語のようにも見えるが、同時調音、空間上での抱合語的な特徴を持つ動詞を中心とした構造も。空間上で動詞の項との一致が見られる。

•テンスは「前」「今」「後」など語彙項目でマークされる

•モダリティは語が後ろにくつつくほか、非手指要素でも表される

•アスペクトは動きの変化で表される。完了のアスペクトは「終わり」「pa」など

•主題化は容易

•トピック・マーカ―（眉上げ・目開き）を用いることで語順が入れ替えられる

•これが「格助詞がないうえに語順が安定しない」という偏見の源？

日本手話文法の基礎

- 主題は非手指要素でマークされる
- 指さし(PT)は代名詞だけとは限らない
- **文末の指さし**が問題になる
 - 文頭で主題をマークする指さしは機能がはっきりしているが、文末にも同じように指さしが出てくる。文頭に指さしがなくとも、文末に指さしが高頻度で表れる。
- 程度副詞は非手指要素（目・口）が担う
- 動かし方(調音)も重要

動詞

- 都市型手話の動詞は3パターンに分けられる
 - 日本手話もこれと同様の特徴を持つ
 - 無変化動詞、一致動詞、空間動詞
 - 無変化動詞：身体部位に係留されるものを含む
 - 空間動詞：移動動詞など位置を位置として用いる
- 一致動詞：項構造を動詞の中に含むもの
 - 主語と目的語の「位置」を「動き」または「手の向き」で表す（位置は1人称、2人称、3人称の領域がすでにあるので、その位置が正確に誰なのかわかっていなくても使える）
 - 目的語の位置だけが変化するものもある
 - 不規則変化もある

一致動詞

- 3 項動詞の 3 項を語形に含む

- 授受動詞（コミュニケーションを含む）

- 売買などは「お金」「もの」「買い手」「売り手」すべてが動詞の語形に含まれている。ただ、売り手・買い手の位置によって形が変化するわけではない（1売る3=3買う1）。「買う」でも、「誰から何を」を指定しない「お金を使う」だと一致はない。

- 誰が誰には位置、何を渡したのかは手型からわかる

- 贈り物、箱、手紙、電話、発言、説明、E-メール

- 「断る」などは、「依頼する」が語の中に入っている

- 2 項動詞

- 助ける、怒る、いじめるなど人を対象にするものは、非利き手で目的語を表す

- 相互行為のばあいは、左右の手が同時に動くことが多い：争う、結婚する、対立する

形容詞の調査

形容詞

- 形容詞の項目の数は日本語と比べると少ない？
 - 日本語のイ・ナ形容詞を一対一対応ですべては訳せない
 - 日本語の形容詞を日本手話に訳すと動詞表現に対応するものがある
 - 「親切的な」→「₃手伝う₁」：手伝ってくれる
- 動詞が形容詞と共有されているものがある
 - 泣く→悲しい
 - 喜ぶ→嬉しい
 - 興味を惹かれる→興味深い
- 形容詞が動詞化する（形態的な共通点がある）
 - 痛い→痛む
- 名詞を後ろから修飾する構文がある
 - （イギリス手話にも同様の傾向が報告されている Sutton-Spence & Woll 1998）

非手指要素：口型

- (2) a. 手指要素なしにあいづちなどに使われるもの
- b. 手指要素に義務的につくもの（「終わり」につく「pa」など）
- c. 動詞などについて副詞的な意味を付加するもの
一生懸命に「mm」、てきとくに「th」：市田（2005）
- d. 形容詞の肯定的意味・否定的意味に対応し、その強弱を付与するもの**
（肯定的なばあいの「oo」「hoo」、否定的な場合の「ee」「ii」：Matsuoka and Gadjewski 2013）

形容詞の構文

- Noun Adj nod
- Noun^{topic} PT Adj PT
- Noun PT^{topic} Adj PT
- Noun1^{topic} Noun2 Adj
- Noun^{topic} Adj Adj

非手指要素を例文から見る

- 叙述の非手指要素
- 命令形：眉下げ・目普通・アイコンタクト
- 逆接：顎引きからの首上げ

形容詞のトピックマーキング

[ゼロ項文] 今日は暑い、外は暑い

- (6) a. ねえ^{眉寄せ/目細め(右)} /mg(開) []^{瞬き}
[今日^{きょう} []^{瞬き} 暑い^{mg(ahee)/頷き(顎前へ出す)}] ^{眉寄せ/目細め} (104)

今日は暑いよ。

- b. {ねえ^{mg(開)} []^{瞬き} PT3^{右上から下} 視線(指先) []^{瞬き}
暑い^{mg(ahee)/頷き(顎前に出す)} 同じ^{ee}} ^{眉寄せ/目細め} (106)

ねえ、外暑かったね

- 日本語では、「今日は暑い」と言えるが、日本手話の場合は、比較対象がなければ、「今日」にトピックマーカーは付かない

一 項 文

(7) a. 田中mouthing(たなか) []瞬き
[面の皮厚いHS-m PT3頷き(顎前へ出す)]目細め (110)

田中は図々しいやつだ

b. 田中mouthing(たなか)/肩上げ []瞬き
[いい PT3]肩寄せ/目開き/mg(mm) 頷き []瞬き/視線右

いつも視線右₃手伝う₁ mouthing(mm) /顎引き PT3 顎引きからの頷き(無標の位置へ)
(115)

田中はいいやつだ。いつも私に親切にしてくれるのだ。

- 人の性質を述べるときは、人の名前に肩上げのトピックマーカーがつくだけでよい
- 単純な文であれば、トピックマーカーがつかなくてもよい
- ネガティブな性質のばあいは、名詞 形容詞 PT3のみで文が終わることもできるが、褒める場合は、具体的行動の説明が必要
- 田中・佐藤・鈴木あたりが手話の音韻を邪魔せずに自然に例文を表出できる
 - 指文字を使うと、テンポが崩れてトピック・マーキングを細かくやらなければならなくなる。たとえば指さしを増やすなど

非主題主語（対比焦点）

(8) 田中mouthing(たなか) 野球 [うまい PT3_左] 眉上げ/目開き/顎下へ
違う眉寄せ/目細め/首振り/頭元へ戻す

佐藤目細め [うまい首左へ PT3_右 頭元へ戻す] mg(hs-m) [] 頷き
(206)

田中が野球がうまいだって？ いや、佐藤がうまいのだ。

- 眉上げが出てくるのは「うまい」である。これはおそらく修辞極性疑問文。
- 田中と佐藤を対比しているので、指さしの位置が左と右に振り分けられている。

主題の指さし

(9) a. 田中 PT_i 顔き [] 眉上げ/目開き 走る [速い mouthing(mpo) PT_i] 目細め/眉寄せ [] 顔き

鈴木 目開き PT_j - [] 顔き - [PT_j あご上げ/mg(aa) // mouthing(まあまあまあ)/首傾げ] 目細め/眉寄せ

田中は走るのが速い。一方鈴木はたいしたことがない。(136)

b. [友達 PT₃nod] 眉上げ・目開き・アイコンタクト [] 瞬き

{野球-打つ 視線非利き手-正面 捕る-投げる 視線非利き手-正面 [] 瞬き

[うまい PT₃ 顔き(下から上)] 視線指先(非利き手側) [] 視線戻す } 眉上げ/顎引き/mg(hoo) あの友達は、野球で、ヒットを打つのも送球もうまい。(219)

「走る 速い」「野球 うまい」など後ろに重ための叙述が続くときは、指さしもでる。これは、形容詞述語の最後と呼応している。

(9a)では、眉上げ・目開きのタイミングが、指さしのあとである。

(9a)で実は、指さしの位置はほぼ変わらない。文脈から判断できるときは、空間をきっちり使う動機があまりない。

自分の内的感覚について

(11) 話者A：[顔 何 PT2]眉寄せ/首寄せ/顎前 (顔色悪いけどどうしたの?)

話者B：[[] PT1]目開き/眉上げ/mg(mm)/顎前

[同じmg(mm) [頭 痛いmg(ii)]首右前 PT1 mg(mm)]眉寄せ/目細め

(私? そうなの、頭が痛いだよ)

話者A：(やっぱり。おだいじにね)

- 後ろにもPT1がある。こうした文主語（主題）と文末の指さしは対応関係があるが、これらは「主語」であるとか「フォーカス」であるとか議論が絶えない。現在持っているデータの範囲では「主語に限らない」。

人称制限

- (12) 犬^{眉上げ/頷き} 動物が歩く^{目細め/mg(th)/上体フラフラ}
[[PT3_{右下} 暑い]^{顎右下 PT3}]mg(ee)/**目線右下**/眉寄せ/目細め
あのフラフラ歩いている犬は、暑い（暑そうだ）

- 日本手話には認識的モダリティ表現は豊富だが「そうだ」のような付加的な手指要素はない。
- 視線外し**：「暑い」を発している間は、アイコンタクトがないことから、3人称の対象の感覚を1人称の身体を使って表現するRS（リファレンスシフト）的であるとも言える。
- ただ、ASLなどの研究でRSは、もっとあからさまにやるもの（発言や行動の引用）であるため、このかすかな視線外しを「3人称の感覚を1人称の身体で表すための要素」と断言はできない。

詠嘆の表現

- (13) [今日 PT1 友達^{mouthng(ともだち)} 会う 必要^{mouthng(ひつよう)}
OK^{顔き}]眉寄せ/目細め
[家 ドア開ける]眉寄せ・目細め []目開き/眉寄せ/あご上げ/視線上/mg(aa)
寒い!眉寄せ/目閉じ→目無標/mg(am)

今日は友達に会わなければならないので、よし、と思って家を出ると、わっ寒っ!(234)

- これは市田(2005)のいう、発見の目のふるまいで、話者は聞き手と目を合わせていない。また、無標の脇を締めながら拳を振る「寒い」と異なり、「寒い!」は勢いよく1回脇を締めるのみで表されている。

命令文

•形容詞というよりは動詞の構文

(17) {PT2^{mg(aa)} [速い 走る 速い] ^{mg(mm)}頬膨らませ } 顎引き/眉寄せ/視線2

(もっと) 速く走りなさい

- 命令文の場合、顎を引き、命令を受ける聞き手の方に視線を送り、眉を寄せ、目は細めない
- 手話言語は、ABA構造が多い。[速い 走る 速い]もこれに類するものである。
- 目の開き方は無標か、目開きである。この2つは今のところ区別できない。

連体修飾

- (18) a. [風呂^{mouthng(おふろ)} PT1]眉上げ/頷き(小)
[熱い [苦手^{PT1}]顎引き右後]眉寄せ/目細め/mg(ii) (220)

私は熱い風呂が苦手だ

- b. 手前_{ns}旅行する^{mouthng(りょこう)/頷き} 温泉
旅館 入る^{顎上→無標/目細め}

[部屋^{mouthng(おへや)} 大きい^{mg(hoo)/眉上げ}]目線前下
部屋^{-mg(hoo)/-眉上げ/目開き/目線無標}

ぴかぴかぴか^{眉上げ/目開き}

[[]^{上体上} PT1^{目細め} 快い^{いい}上体前]mg(oo)

旅路を経て、温泉旅館に到着して、部屋に入ると、広くてきれいな部屋だった。わあ。快適でいいわ！

連体修飾

(18) a. [風呂 mouthing(お風呂) PT1]肩上げ/頷き(小)
[熱い [苦手 PT1]顎引き右後]肩寄せ/目細め/mg(ii)

- 「赤い車」を間を開けずに連続して調音すれば「赤い車」を意味することはできるが、こうした限定修飾は、後ろに付くことが多いようである。
- 2つの例文は、「熱い風呂 苦手」「広い部屋 快い」のような語順では表現できない。
- 「私はお風呂は（なら）熱いのが苦手だ」のような訳し方ができる。
- (18a)の「熱い」、(18b)の「広い」は名詞の属性を表す形容詞だが、後半の「苦手 PT1」や、「PT1 快い いい」が主観的なコメントであり、これらは主観的な形容詞である。
- (18a)に類する「味噌汁 熱い 好き」「男 マッチョ 好き」など、「味噌汁なら熱いのが好きだ」といったカテゴリーの中でどういう性質のものがいいか、というような構造の場合、前から修飾するのが不可。「*熱い味噌汁 好き」。

まとめ

- トピックが眉上げ・目開き、指さしでマークされる
- 0項文のとき、日本語では「今日は」が出てくるが、日本手話では「今日」をマークしない。
- 二重主語文は日本手話にもある。
- 連体修飾の文の構造が独特→さらなる調査が必要
- 非手指のみ（口型）の形容詞的表現がある
- Matsuoka & Gadjewski(2013)の肯定的・否定的意味の口型が全面的に見られる
- 文末の指さしが何と対応しているのかは今後の議論が必要

